

**名 称**：森林共同施業団地現地検討会

（森林認証材サプライチェーン構築WG・民国連携推進WG合同開催）

**日 時**：令和5年7月24日（月）午前9時～11時

**会 場**：大館市岩瀬字内町沢 地内 大館市有林

**参加人数**：10人（うち事務局2人）

**要 旨**：主な協議内容は以下のとおり

### （1）概要説明

- ・小班ごとの面積・林齢・間伐履歴等について説明。
- ・大館市有林については森林認証林としてのフィールド設定及び森林認証材の供給を想定し、協議会内での実施体制を整える。

### （2）現地検討会・意見交換

- ・スギ林分について、これ以上の間伐は不要と考えられる。施業については主伐・再造林を実施し、標準伐期（50年生）に至っていない小班（11,14小班）は伐期が到来したら同じく主伐・再造林を実施すべき。
- ・カラマツについては成長度が良いと思われる。カラマツが標準伐期（35年生）を超えているため、主伐・再造林で良いのでは。
- ・原木の土場については国有林敷地の使用を想定。実施の際は森林管理署と調整し貸付申請書等の手続きを行うこととする。
- ・国有林の事業予定地が市有林より奥にあるものの、原木の搬出等も考慮すると市有林と国有林の施業実施年度、時期をそろえた方が効率的である。

### （3）講評・コメント<米代東部森林管理署・柏崎氏>

- ・本日の現地検討会で施業団地の取り組みの方向性を各自共有できた。実施に向けて引き続き連携していきたい。

**写 真**：



写真1 概要説明



写真2 現地検討会・意見交換